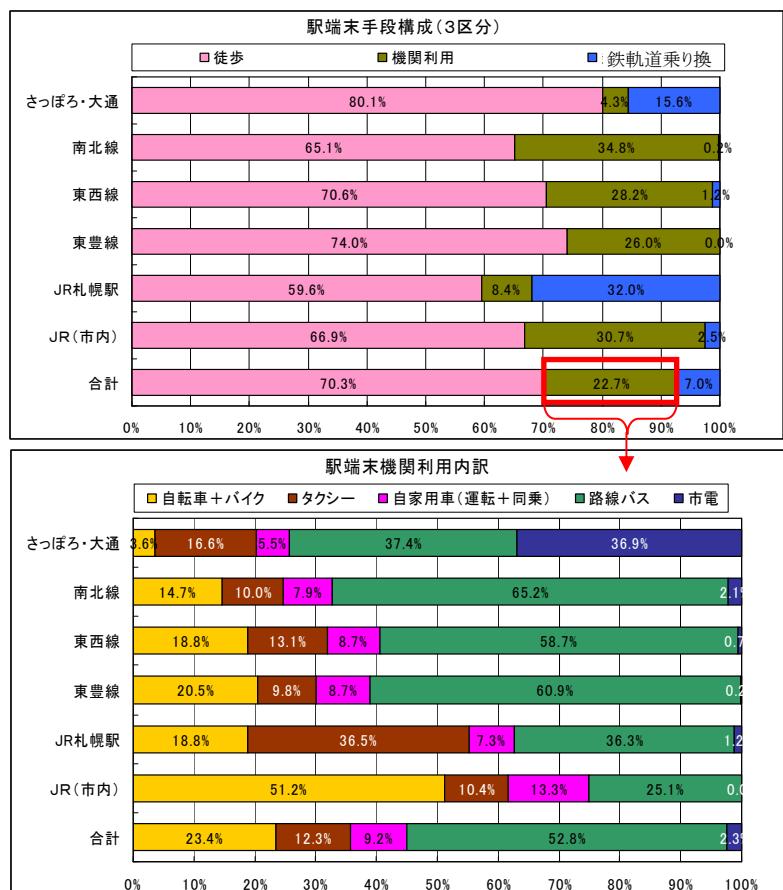


(6) 乗り継ぎ

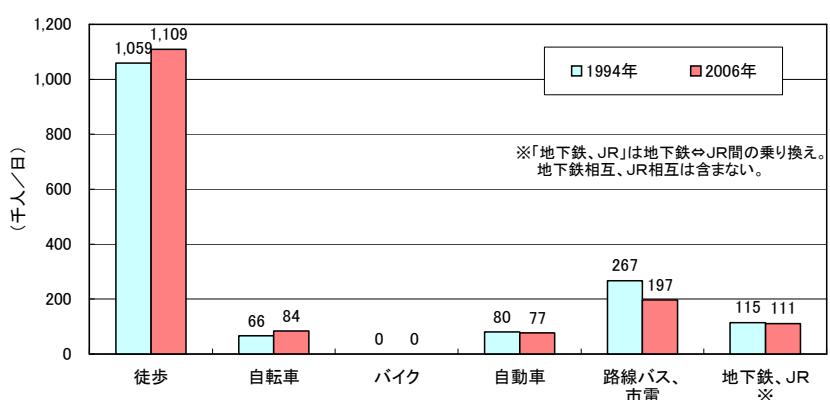
◇ 駅でのバス乗り継ぎが減少し、自転車や徒歩が増加する傾向。

- 駅端末手段の7割は徒歩です。バスや自転車からの乗り継ぎは2割あまりです。
- 地下鉄駅ではJR駅に比べて、バス乗り継ぎ利用割合が高いです。
- 駅端末手段別ではバスが減少して、自転車や徒歩が増加する傾向となっています。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図 35 市内鉄軌道の路線別端末手段構成



資料：道央都市圏パーソントリップ調査

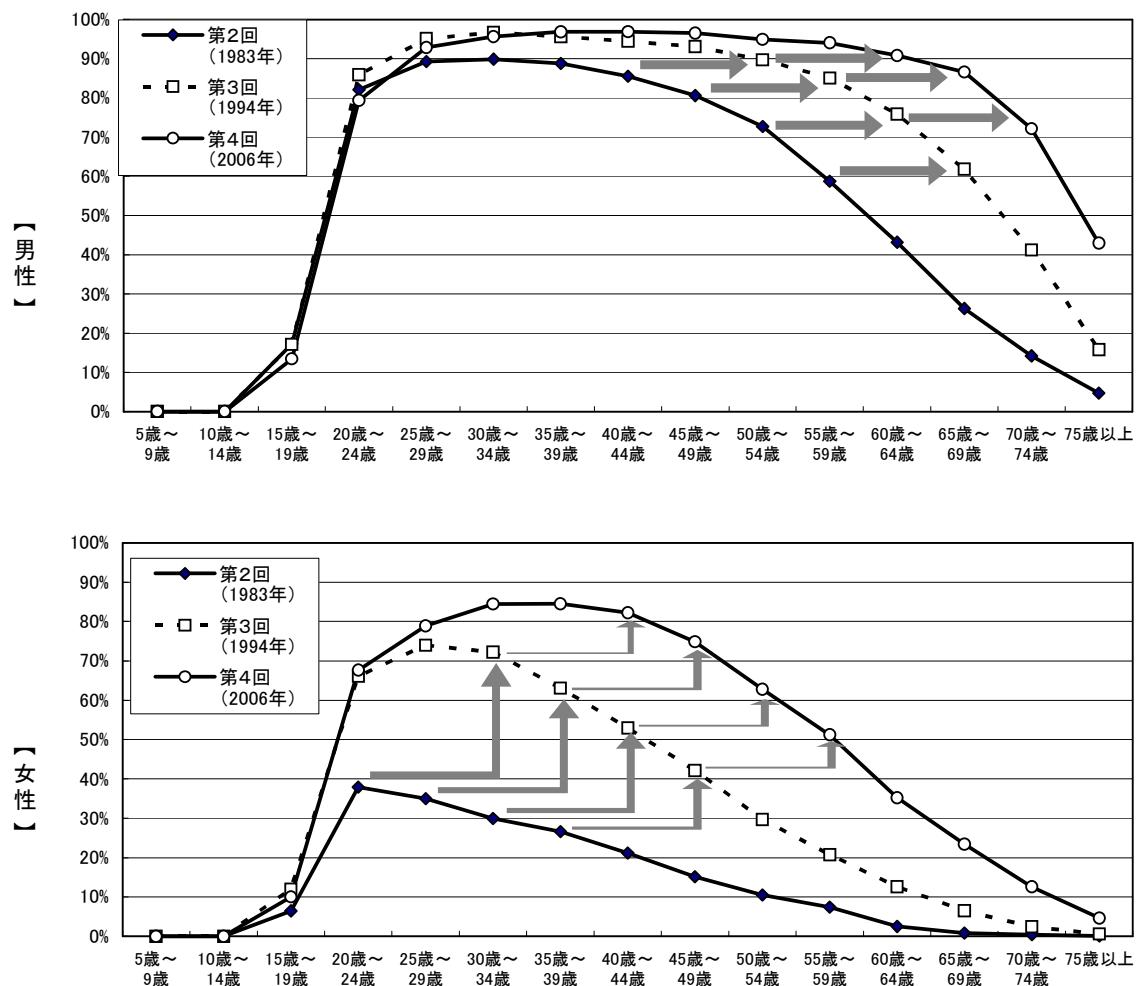
図 36 端末手段別駅乗降者数（札幌市内駅集計）の推移

1-4 自動車交通

(1) 免許保有と自動車保有の状況

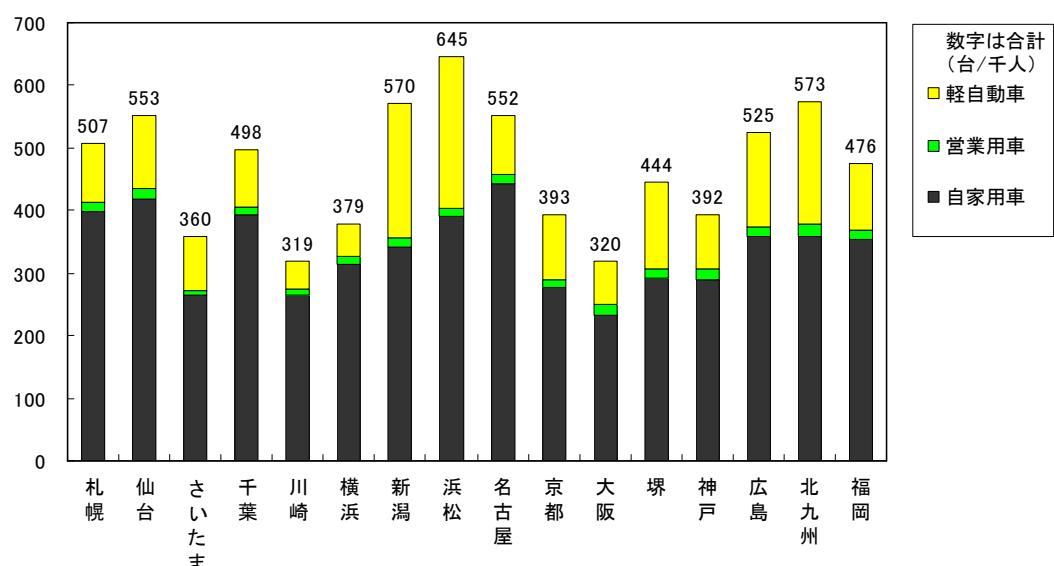
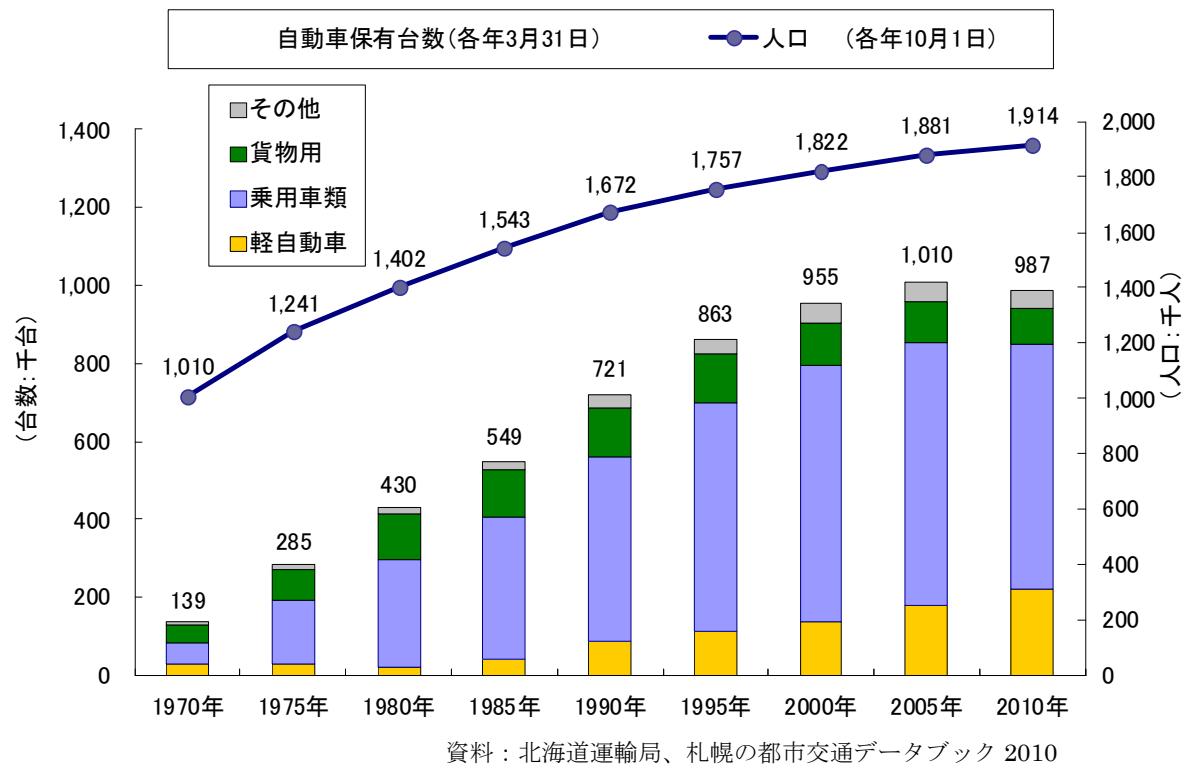
◇ 女性の免許保有率が上昇。普及が進んだマイカー。

- ・男性は 20 代までに殆どの人が免許を取得する傾向が、20 年前から変わりません。
- ・これに対し、女性は 20 代までに免許を取得する人の割合が伸び、かつ 30 代以降に免許を取得した人も多いです。
- ・自動車保有台数は、人口を上回るペースでこれまで増加してきました。(次ページ図)



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

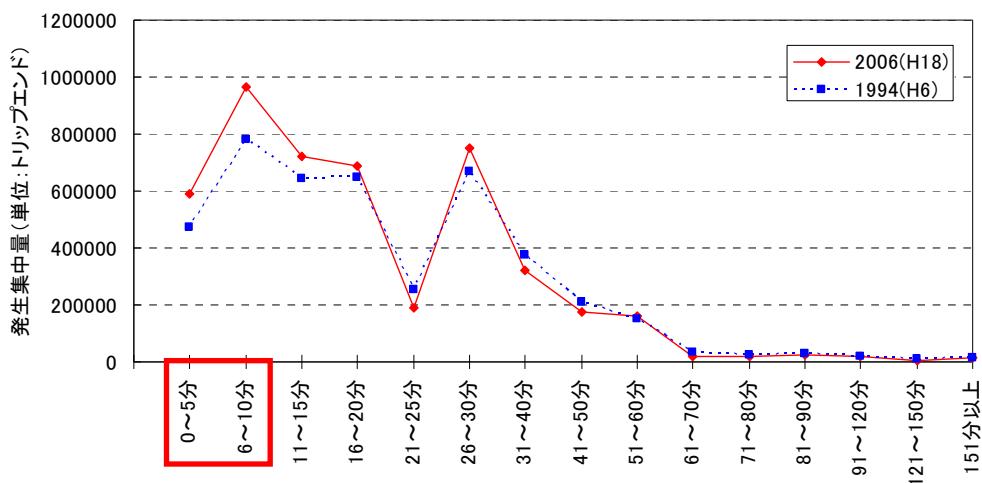
図 37 年齢階層別の免許保有率の推移



(2) 自動車への依存

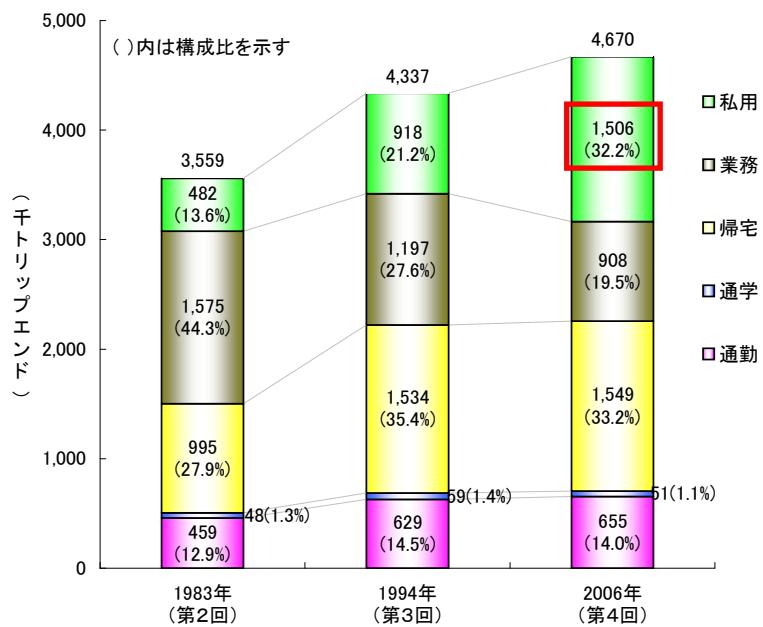
◇ 自動車の短距離利用が増加。買い物など安易に車を使う傾向。

- 短距離（移動所要時間：10分以内）での自動車移動が増加しています。
- 私用目的での自動車利用が増加しています。
- 女性の免許保有率の上昇や、自動車保有台数の増加を背景に、買い物などで気軽に自動車を利用する傾向が強まっていると考えられます。



資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図 40 札幌市内における発生集中交通量の移動所要時間分布



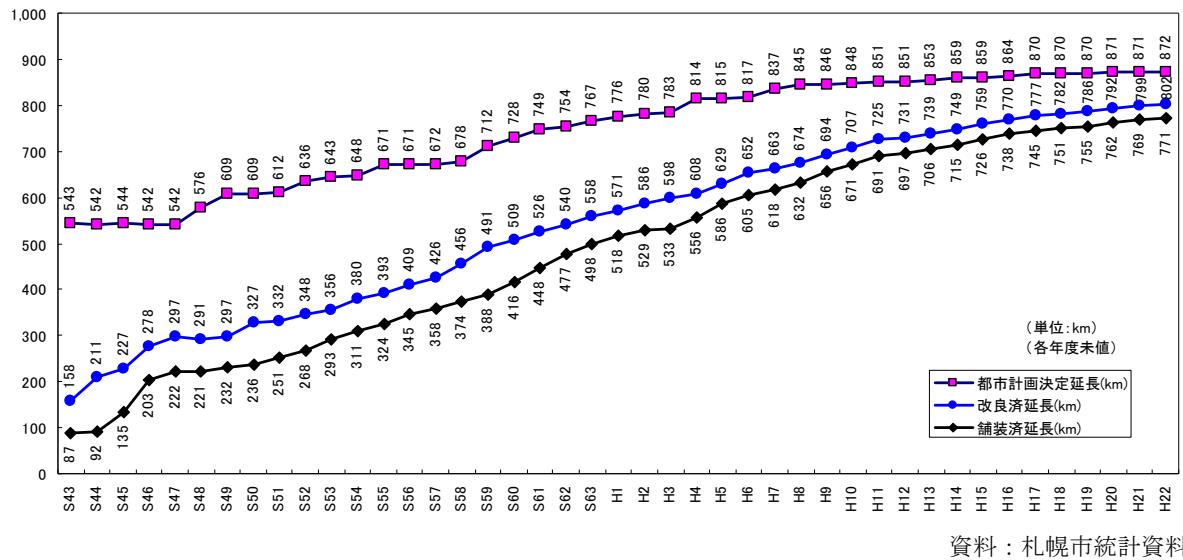
資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図 41 札幌市内の目的別自動車発生集中量の推移

(3) 道路整備状況

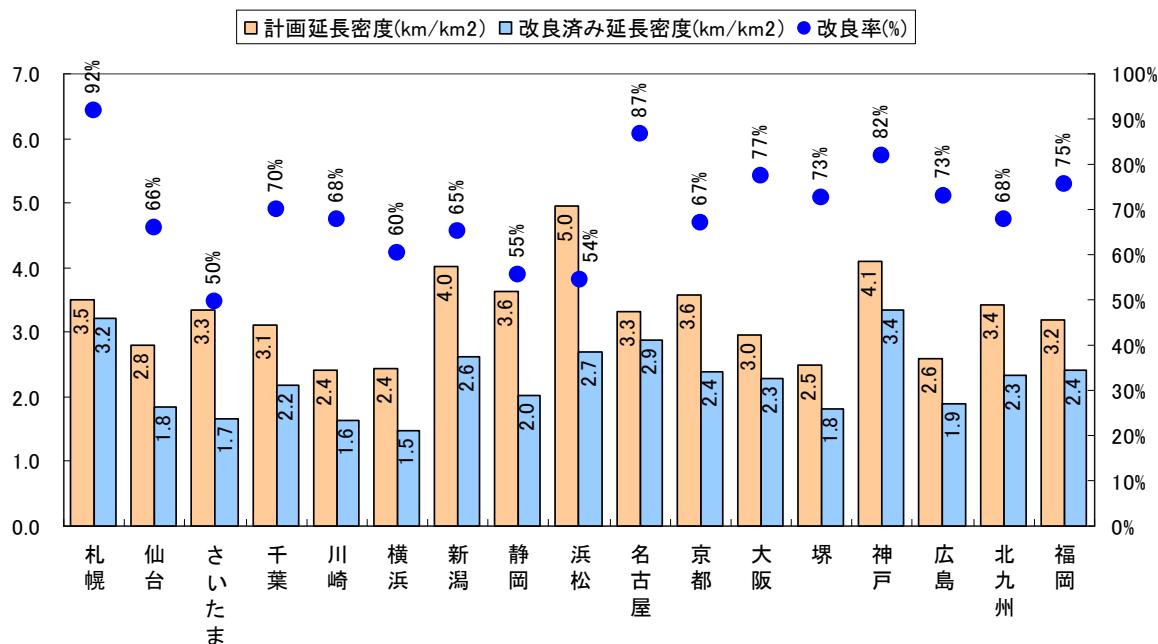
◇ 道路整備は着実に進み、整備率は他都市と比べ高い。ただし、都心部における自動車専用道路は無い。

- ・都市計画道路の道路整備は着実に進んできています。
- ・他都市と比べても、幹線街路の整備率は高いです。
- ・他の政令指定都市の多くは、都心部で自動車専用道路が整備されています。



資料：札幌市統計資料

図 42 札幌市内の都市計画道路整備率の推移



資料：札幌市統計資料、平成 22 年都市計画年報（国土交通省）

図 43 幹線街路密度と整備率の他都市との比較（2009 年度）



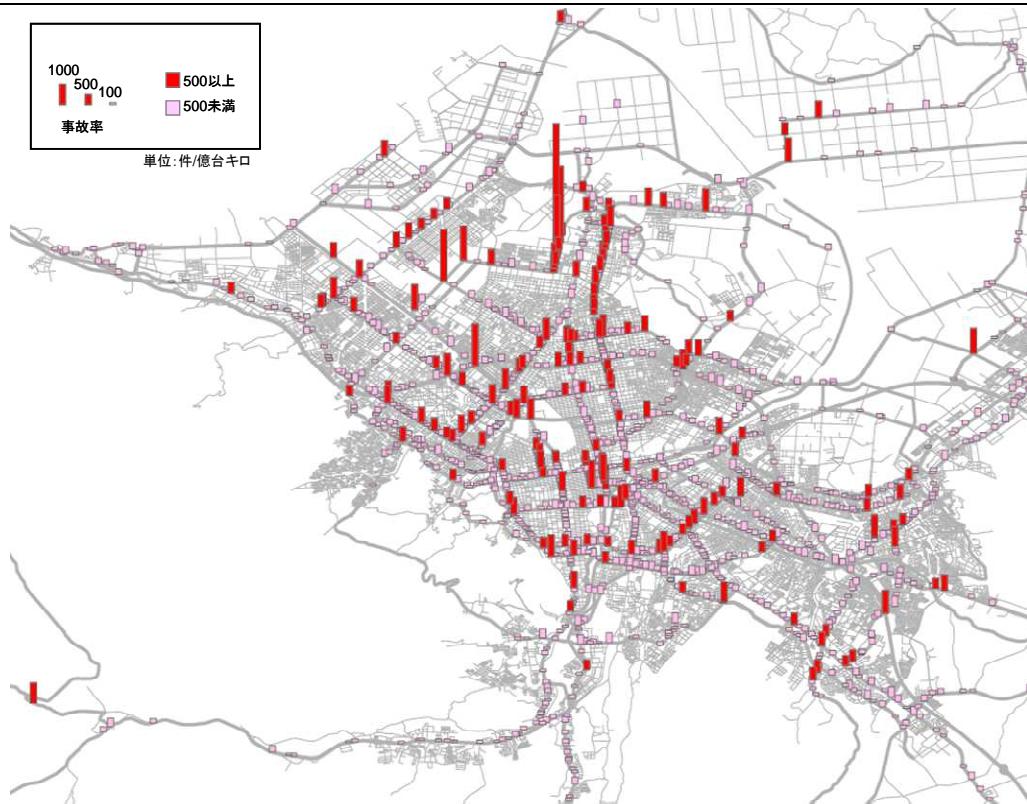
(●は各都市の市役所の位置)

図 44 自動車専用道路網の比較

(4) 交通事故状況

◇ 死傷事故は市内幹線道路で広く発生。

- 死傷事故は市内の幹線道路で広く発生しています。



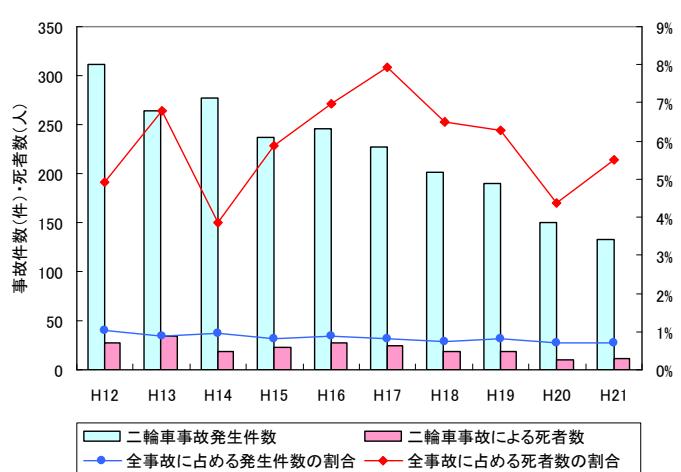
資料：寒地土木研究所

図 45 交差点事故率（2002～2005 年）

～致死率の高いバイク事故～

北海道における二輪車の事故(第1当事者)

北海道における二輪車事故件数は近年減少傾向を見せており、二輪車事故の全事故に占める発生件数割合（1 %未満）に比較して、死者数割合（約 4 ～ 7 %程度）が高く、四輪車に比べて、二輪車事故は死亡事故に至るケースが多くなっています。



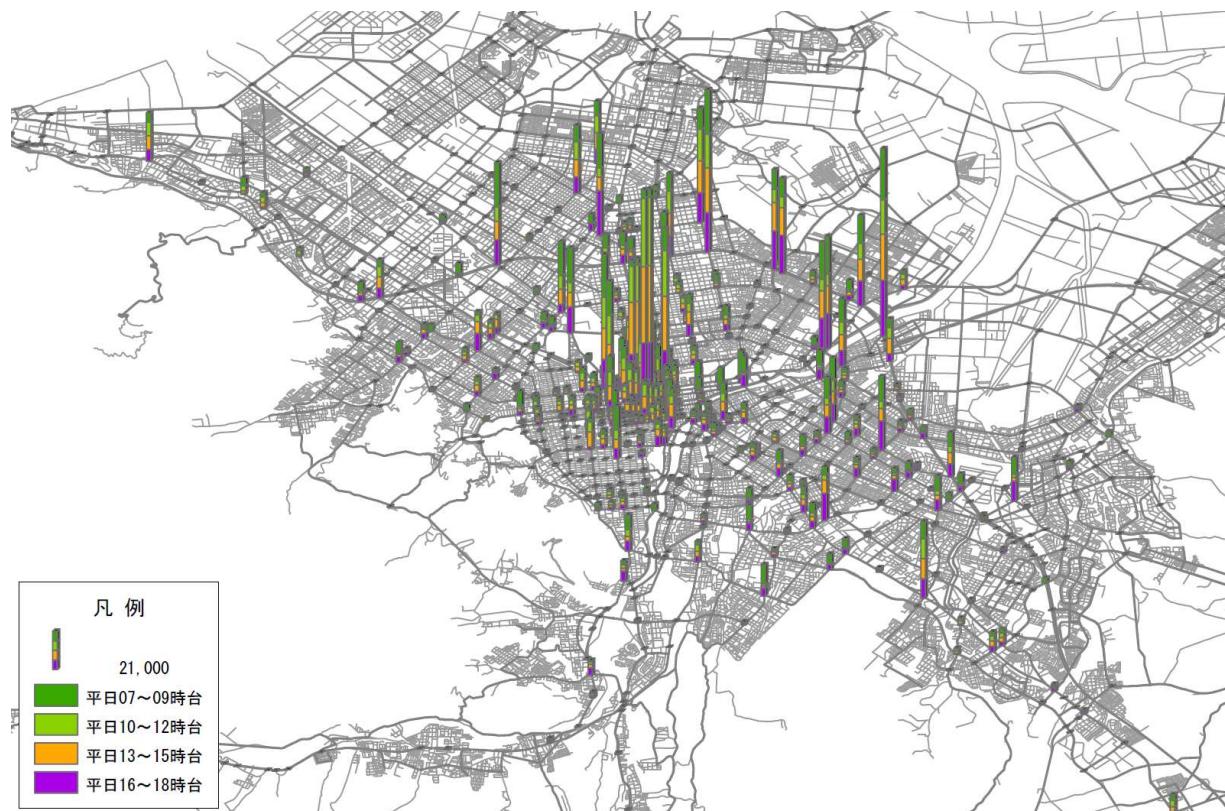
資料・交通年鑑

図 46 二輪車事故件数など

(5) 道路交通状況

◇ 交通混雑は都心を中心に発生。

- ・交通混雑は都心を中心に発生しています。



混雑発生：5 分間の平均走行速度が 20km/h 以下となった回数

資料：寒地土木研究所

図 47 混雑発生状況（2005 年）

(6) 冬の道路交通状況

◇ 積雪で冬期の速度は秋の半分。

- 車道除雪延長は、年々増加傾向です。
- 冬期は積雪で路面環境が低下します。また、雪山により有効幅員が減少します。
- 交通容量の低下から、冬期には所要時間が3割ほど増加しています。

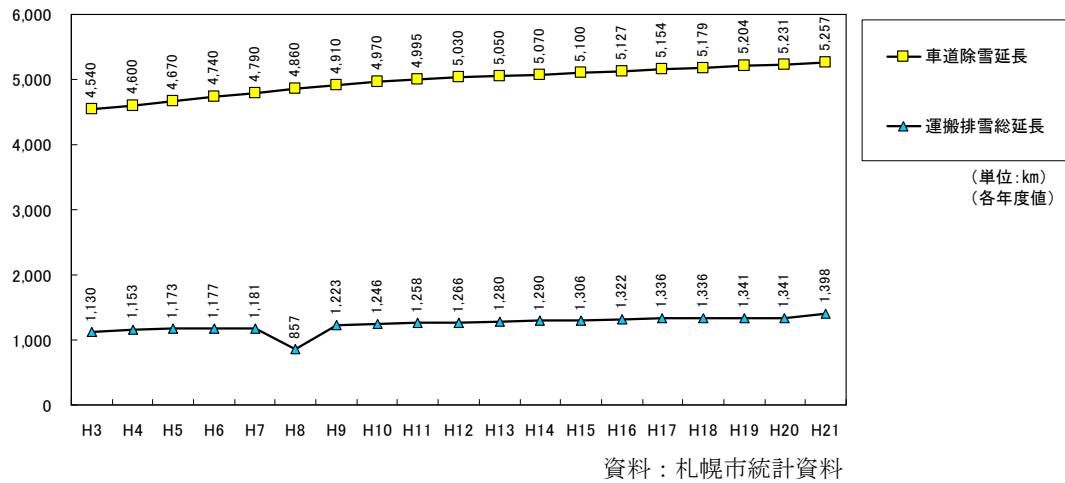


図48 市内道路の除雪状況

定規図

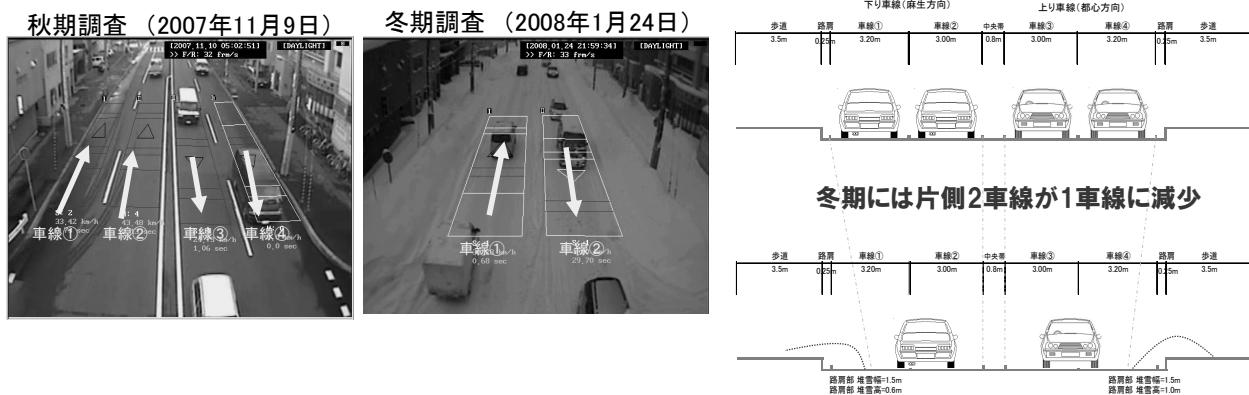
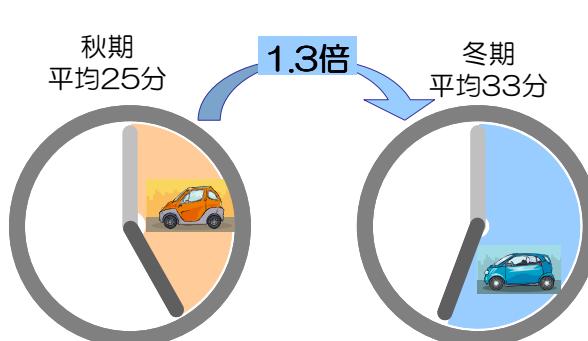


図49 西5丁目・樽川通（北18条）における秋期・冬期の状況



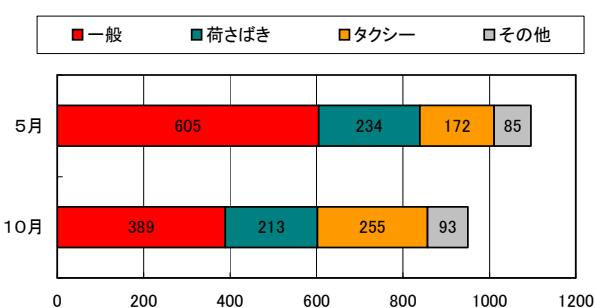
資料：道央都市圏パーソントリップ調査（2006年）

図50 自動車での通勤通学所要時間比較

(7) 都心部の駐車状況

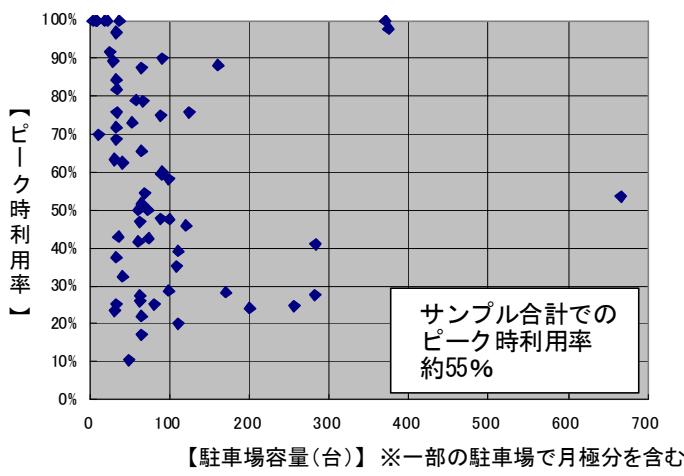
◇ 都心内では、一般車だけでなく荷さばきやタクシーの路上駐車が依然多い。

- 道路交通法の改正（平成 18 年 6 月施行）での駐車取り締まり強化に伴い、一般車などの路上駐車は減少しましたが、依然都心部での路上駐車台数は多く、荷さばきやタクシーの割合も多いです。
- 都心部の平均自動車走行速度は僅かに改善したものの、13 km/h 程度と低いです。
- ピーク時には満車となる駐車場もありますが、総体として都心の駐車場容量は充足しています。

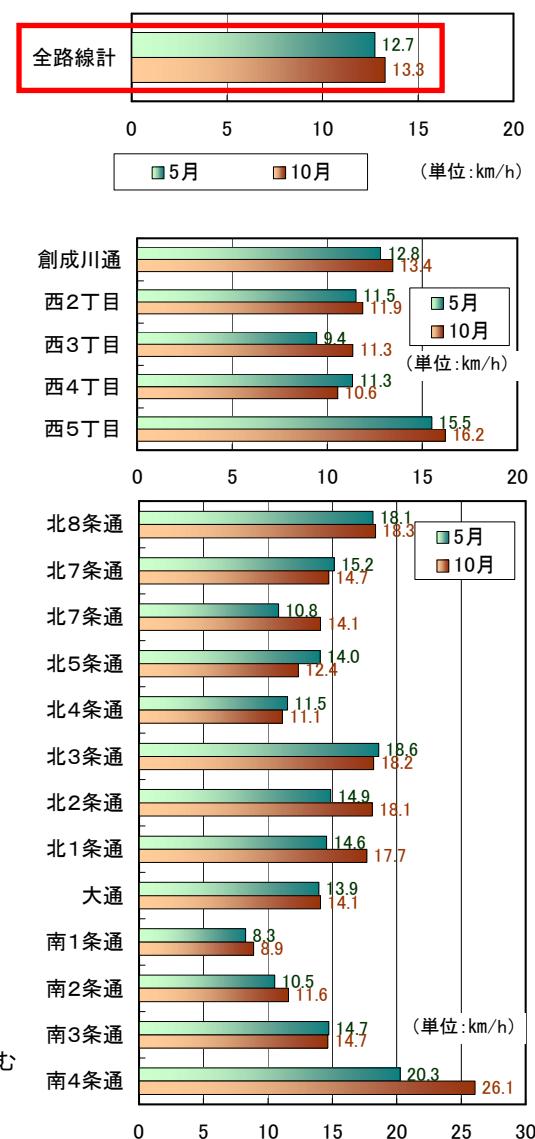


資料：平成 18 年度札幌都心モニタリング調査
(調査範囲は東西で創成川通～西 5 丁目線、南北で北 8 条通～南 4 条通)

図 51 都心路上駐車調査でのピーク時
車種別路上駐車台数



資料：平成 22 年度札幌市駐車場実態調査
図 52 都心部時間貸し駐車場の利用状況



資料：2006 年度札幌都心モニタリング調査
図 53 都心内の路線別の平均自動車走行速度